

川西のまちづくり、ご意見ください

都市計画道路見直し・8路線検証で

南花屋敷線廃止へ



市の説明では代替道路があるとのことですが、都市計画道路の代替としてはお粗末な市道11号線(写真)です。

歩道も無い道路を代替とは

のは昭和28(1953)年。半世紀を越えています。計画当初から周辺はずいぶん変化し、住宅が張り付いている状況です。私も議会で検証すべきと意見を言いました。

一部50センチメートルの歩道があるものの危険な道路です。代替というなら、歩道の整備を含めて安全対策を万全にして、計画の廃止を行なうべきではないでしょうか。

新名神高速、中央北地区整備、進捗状況

5月24日に、特別委員会が開催され、新名神高速道路の進捗状況、中央北地区整備事業の方針案など説明があります(22日記述)。それに先立ち正副議長・正副委員長に事前の説明がありました。一部報告します。

れる。用地の測量、買収が進行中で、一部市道の改良が進行中です。

関連市道の整備が始まる

「医療」「住宅」「集客」などで次世代都市をつくる方針

新名神高速道路のうち高槻から神戸ジャンクションまでは約40キロ、川西市はそのうちの5.4キロメートルです。暫定的に4(6車線)の用地確保)車線道路。川西市にインターチェンジが建設されます。

えっ！今頃方針、と思えるような時期に、上ものに対する方向性を打ち出してきました。

一の鳥居駅から西へトンネルが建設、鳴尾ゴルフ場の南にインター、猪名川町の六石山へトンネルが掘ら

中央北地区整備において約1ヘクタールの保留床、1ヘクタールの売却可能公有地をどのように活用するか、目的を示して売却していきたいと、まちづくり方針を打ち出してきました。

都市計画決定し、30年以上経ても未整備の8路線に対し、検討委員会で調査、議論された結果、代替道路のある南花屋敷線のみ廃止を決定し、議会建設常任委員協議会、さらには都市計画審議会へ報告がありました。

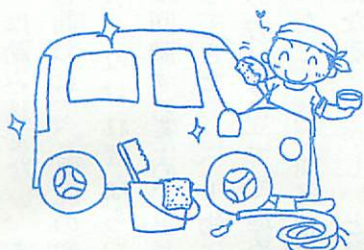
今後は関係者の皆様へ説明にも入り、納得していただいて廃止手続きへ入る計画とのことでした。

決定から58年経過

南花屋敷線が都市計画決定された

決定から58年経過

これまでの説明では、土地区画整理事業を市が責任持って進めるが、上ものについては地権者が(裏へ)



<p>よし</p> <p>くらしの</p> <p>「由さん」の 便り</p> <p>2011年 6月 27日号</p>	<p>川西市議会議員 (日本共産党)</p> <p>住田由之輔 すみだよしのすけ</p> <p>連絡・下加茂 1-24-23</p> <p>090-9283-6739</p>
---	--

放射能漏れを起こせば

人間の手では防げない



東日本大震災は、「原子力エネルギー」の見直しが緊急の課題であることを突きつけた

世界の英知を集めても、核物質を安全に処理する技術は人間社会には無いというのが現在の到達です。

使用済み核燃料の安全な処理方法は見つかっていません。モンゴルの地下数百メートルへ埋める話も出ていますが、安全な物質へ変わるには2万4千年以上かかります。誰が責任持って管理できるのでしょうか。

今回の放射能漏れで東京電力が賠償しなければならぬ金額は桁外れの金額です。原子力エネルギーが安くつく、一番クリーンだなんて、もう誰も信じていないはずなの、それでも原子力に

依存したいと答える人は自分だけ安全だと信じ込んでおられるのでしょうか。ここの大阪でも事故の影響で放射能が降ってきているのです。いやですね。地球は一つの球体ですから上空に舞い上がったもの

は世界中に拡散します。海へ流れ出たものは海流に沿って、魚たちによって世界中に広がります。誰がそれを防ぐことができるのでしょうか。放射能は拡散しても消滅しないのです。それが厄介です。

ドイツは原子力エネルギーを廃止し、再生可能エネルギーで電力をまかなう方針を出しました。自分たちの身の回りに危険物を置いておきたくないからです。人類が生存するために当然の考えではないでしょうか。なぜ日本でその方針が出されないのか。「生きていたくない」なんて思う人はいないはずなのに。

川西市はこの間兵庫のチームとして、消防、給水、事務など人材の派遣、またブルーシート、ガンリンなど市内業者の協力も得て支援を行なってきています。

大阪空港と

関西空港が統合



関西国際空港と大阪空港を統合し管理する法案が国会で、反対は日本共産党だけで成立しています。

関西国際空港は、関西経済活性化への起爆剤になると、民間企業が設立、管理運営してきました。

過大見積もりすることによって安定した経営ができるとしていたのに、建設の巨額の負債も重くのしかかって、経済の活性化ではなく足を引っ張る空港になってい

(表より) 決めるものであり、そこへは踏み込まない、市が責任を問われて、市民の税金を投入しなければならぬ状況は回避するため、と長く説明してきたのに、上物についての方針を立てて進めることになったことは、前言を翻すことになる。おかしいと私は思っています。

ます。

その借金払いに、国営・大阪空港の「儲け」を吐き出させるため統合・民間経営するとし、赤字を作り、国民の税金を無駄に使ってきた責任は「頼みごと」にして、今回の状況になりました。

市の担当者と懇談する中で、「民間経営」になっても安全の確保、騒音軽減は国の責任で行なう旨確認しているとのこと。

議員年金制度が

廃止になりました

地方議員年金の廃止措置を講ずる法律が成立、本年6月1日より施行されます。

女川町を支援することになりました

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町、女川町に対し、隣接する被害が比較的少なかった栗原市、登米市とともにチームを結成し支援することになりました。

支援が長期化することが予測できる今日、これまで兵庫のチームとして支援してきたものを自治体独自に支援する方向が出され、近隣